

篠ノ井駅西口の土地利用方針について



都市整備部 都市計画課



●は市有施設を示す

①空地 (約2,800㎡)

- ↳ 工事資材置き場
- ↳ 現場事務所

②送迎用駐車場※ (約800㎡)

- ↳ 送迎用駐車場 (1時間以内の利用)

③駐輪場※ (約1,100㎡)

- ↳ 篠ノ井駅西口駐輪場

④西口駅前ロータリー

- ↳ 平成10年整備完了

⑤月極駐車場※ (1,500㎡)

- ↳ 64台分の月極駐車場 (土地開発公社)

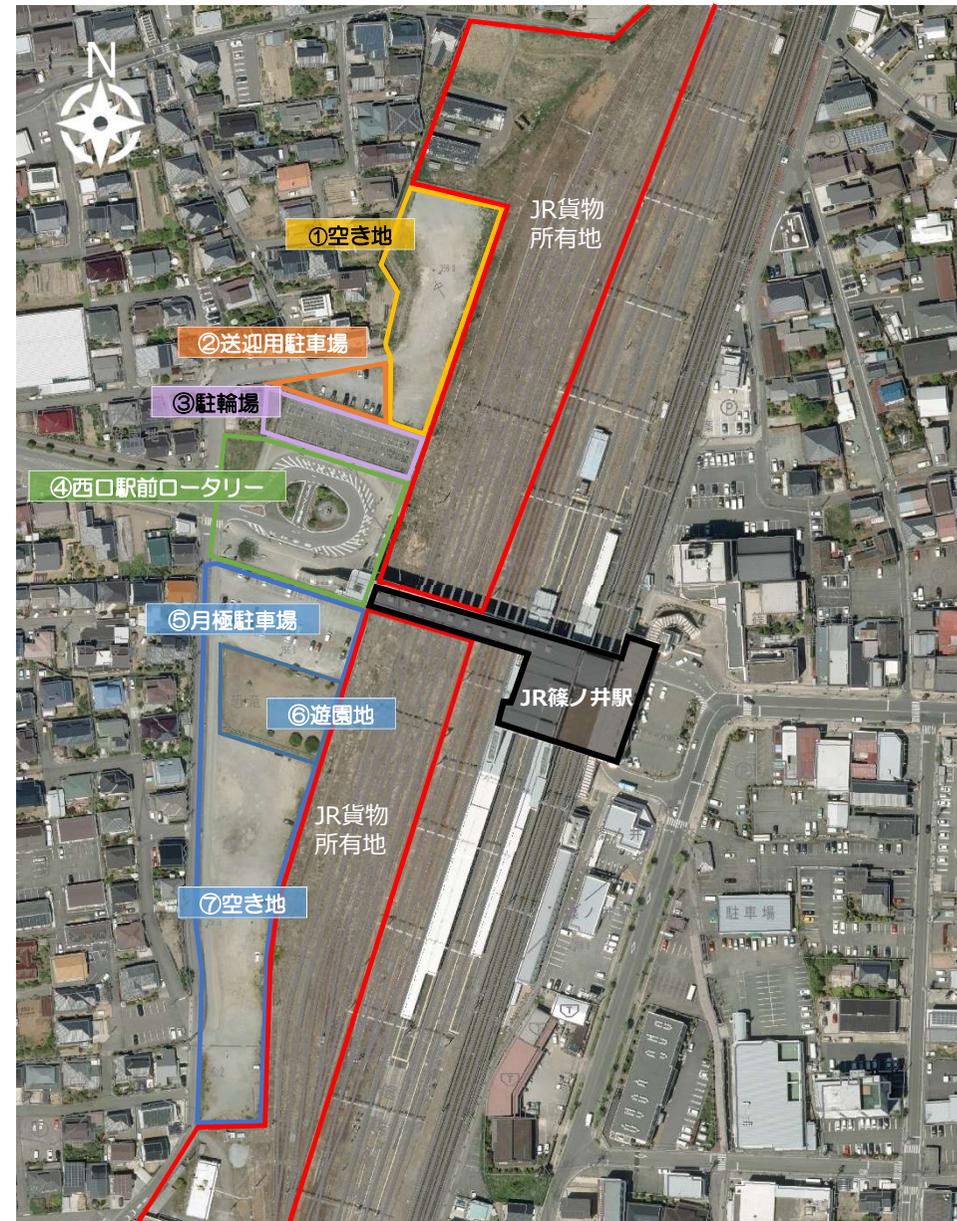
⑥遊園地※ (約1,800㎡)

- ↳ 恐竜口公園

⑦空地 (約5,950㎡)

- ↳ 各種イベント時の臨時駐車場
- ↳ パーク&レールライドの駐車場

(※は仮設整備)



- 平成6～8年 国鉄清算事業団から購入（土地開発公社による先行取得）
- 平成9年～ 篠ノ井駅西口東西自由連絡通路及び西口駅前ロータリーの整備
駐輪場、送迎用駐車場、遊園地の仮設整備
- 平成24年 JR貨物(株)より土地交換等の協議申入れ
- 平成28年 篠ノ井住民自治協議会、商工会議所篠ノ井支部、篠ノ井地区区長会から市長要望
「駅西口へ南部図書館移転について」
- 平成29年 公共施設配置について考える市民ワークショップ開催
- 平成30年 篠ノ井地区三団体交流会から「南部図書館改築・整備」について市長要望
- 平成31年 図書館建設等サウンディング型市場調査を実施（17団体参加）
- 令和元年 未利用地活用及び南部図書館移転を含めた複合施設整備検討 ※方針決定には至らず
- 令和3年 商工会議所篠ノ井支部から市長要望（4月）
「篠ノ井駅西口低未利用地への企業誘致のための土地提供要望」
篠ノ井地区三団体交流会から市長要望（6月）
「南部図書館を核とした篠ノ井駅西口低未利用地の活用について提案(要望)」
- 令和4年 JR貨物(株)事業開発本部と北側エリアの民間売却についての協議（9月）
→北側エリアの売却について了承
炭ガラ埋設量（北側エリア）の詳細調査実施（9月～11月）
送迎用駐車場の利用実態調査実施（11月～12月）

今後の土地利用方針①

■ 土地利用に関する考え方

■ R3市長要望に対する回答

- ▶ 南部図書館は既存施設の改修をおこない活用
- ▶ 改修後に将来の図書館の在り方について検討
- ▶ 民間譲渡についてはさまざまな角度から検討
- ▶ 民間活用が可能な用地は、図書館建設とは切り離し検討

■ R3.6月市議会での答弁

- ▶ 南部図書館については改修後、暫くは既存施設を利用しながら図書館の在り方について検討
- ▶ 民間企業が希望するスピード感に対応するため南部図書館を切り離し民間活用の検討をおこなう



民間活用可能な用地はスピード感を持って検討、公共施設用地の活用については検討継続

■ 民間活用可能な用地の検討

■ 長野市土地利用検討調整会議(R4.12)

- ▶ ロータリー北側は土地形状、立地などから公共施設用地としては不向きであるため、民間活用が可能な用地と判断
↳ R3.6月市長要望『企業誘致のための産業用地』として活用
- ▶ ロータリー南側は一団のゆとりある整形地であり、複合施設の計画に対応可能であるため公共施設用地として確保
↳ 市長要望などで提案のあったマンションなどの民間施設は官民複合施設として公共施設配置と併せて検討

■ 北側用地の民間活用により期待できる効果

- ▶ 地域の活性化 ▶ 雇用の創出 ▶ 新たな税収源の確保(固定資産税、都市計画税、法人税など)
- ▶ 土地の維持費等の削減(利子・土地開発公社事務費) ▶ 地元要望の実現 ▶ 篠ノ井駅西口発展の機運が高まる

ロータリー北側については産業用地として民間活用、ロータリー南側は公共用地等として検討継続

ロータリー北側

■ R5年度より民間売却に向け始動

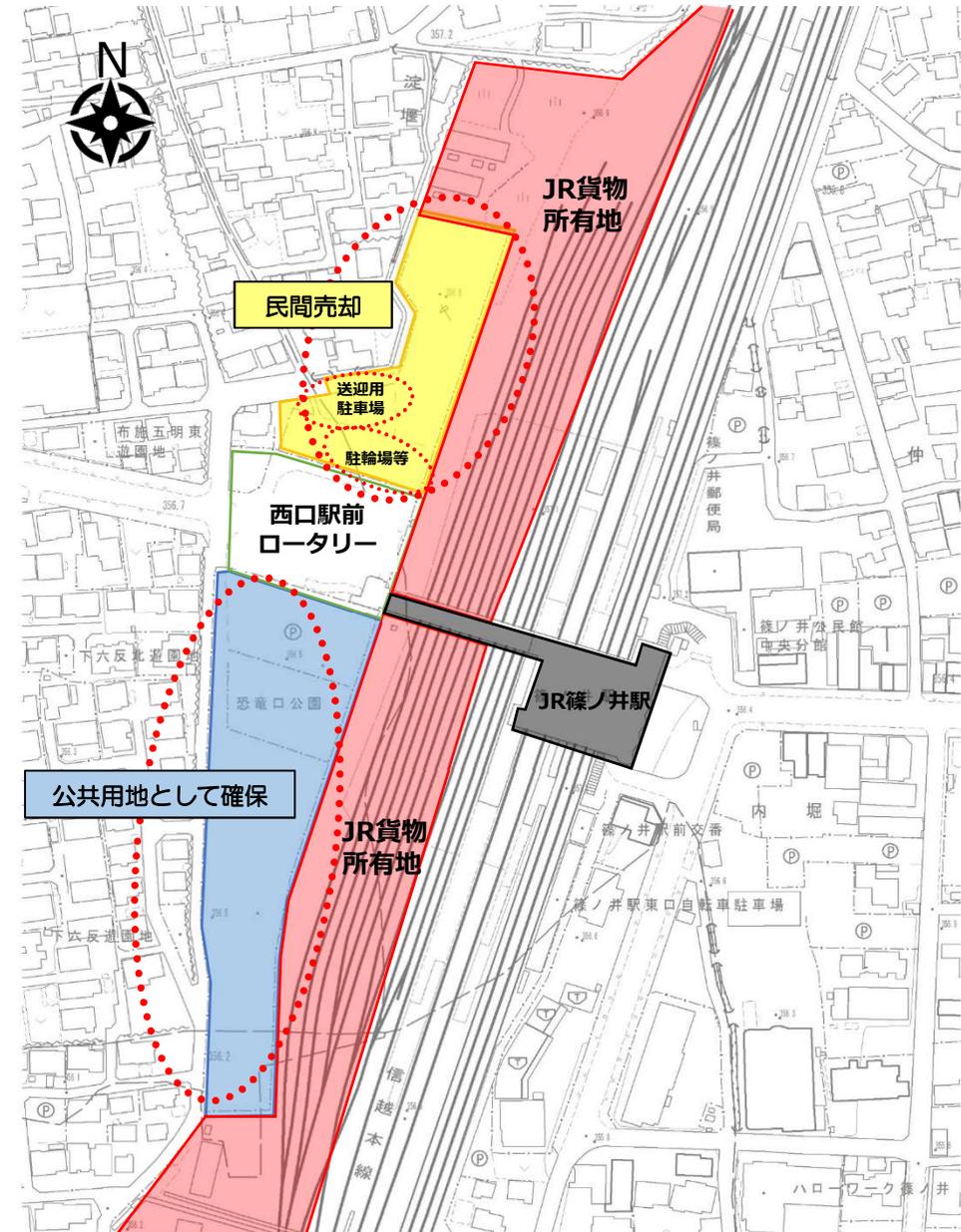
- ▶ 商工労働課「産業団地事業会計」を活用し
産業用地として民間売却
- ▶ 民間売却範囲により駐輪場・送迎用駐車場を南側に移設することを検討

ロータリー南側

■ 将来的な土地利用構想案の検討

- ▶ 官民複合施設、駐車場、公園 など
※関係課と立地計画について検討継続

↓
公共用地として引続き確保



時期	内容
1月19日	政策会議
2月8日	部長会議
2月13日	政策説明会
3月～	篠ノ井地区住民自治協議会等へ説明
	境界立会い、現地測量
	売却範囲の確定（商工労働課と協議）